



造園の未来についてディスカッション

日造協の提示した「日造協設立と造園業界の成り立ちから現況」のスライドを基に、バブル経済が崩壊した平成3年から平成9年までは日造協の会員が増加、その後急激に減少した背景を考察。続いてこのまま工事業者、工事売上が減り続けたらどうなるかという仮説に基づいて討論。最後に造園の市場規模を拡大するためにどうしたらよいかというテーマでディスカッションした。各人から活発な意見が出て盛り上がったが、造園業界は緑の価値をあげられるよう専門性を高めていく一方で、トータル環境産業として変遷していく必要があるのではないか、この会の名称も「造園」というところから脱却

新しい名称がふさわしいのではないかという意見が出た。会議終了 ガーデンサービス研究会 理事改選が行われ新体制が発足 （株）北陸園芸の村本宏斗氏が新会長に

ガーデンサービス研究会は、2015年2月18日に開催された総会において、理事改選が行われ新体制が発足。4月10日、東京都江東区の東京ファッショントアウンビル（TFTビル）にて発表が行われた。新体制発足に対し、前会長である（株）高崎松風園 山口俊輔社長は「2010年5月に当初5社で発足した当会

後懇親も行われ、その場でも引き続き熱い議論が交わされた。

も、現在では会員会社が45社になりました。この会を次世代に受け継いでいきたいということで、新会長に北陸園芸の村本社長を選びました。村本社長は若くて勢いもありますし、会社も造園、エクステリア、園芸売店や、ブライダル、植木の卸しなど、個人・法人に対しても、パランスよくされている会社ですので、いろんな方向から物事を考えられる

と思います、新会長には村本社長しかいないと思いましたが」と話した。（株）北陸園芸の村本宏斗新会長は「今まで理事として参加させていただいて

ンスを中心に行っているのは、このエクステリア業界は工事業なのでつい工事に偏りがちですが、工事をしたお客様のアフターフォローをしっかりと、きれいな庭を維持していくことも大切だと思うからです。今年度からは実務的な勉強会や研修会を積極的に開催したり、共有のチラシや会社案内などの販促ツール作成を行い、会と共に一緒に成長していきたいと思えます」と抱負を述べた。

【第5期ガーデンサービス研究会
組織体制】※敬称略

●会長 (株)北陸園芸 代表取締役・村本宏斗

●副会長 千葉グリーンセールス(株) 代表取締役・大木哲

●理事 (株)高崎松風園 代表取締役・山口俊輔

(株)砂丘園芸 代表取締役・浜本真

(有)東北ランドスケープデザイン 代表取締役・岩崎京一郎

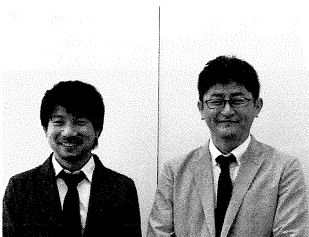
(有)京苑 専務取締役・鈴木北斗

つくばガーデン 代表取締役・小川大樹(新理事)

事務局長 (株)タカシヨー・岡本晴雄(新理事)



ガーデンサービス研究会 会議の様相



会長の村本社長(左)と前会長の山口社長(右)

たので、今後の方向性は変わらざ、山口前会長と一緒にやっていきます。庭チャンネル(ガーデンサービス研究会)がメンテナ